地球規模の課題に挑む次世代のリーダーを育成する3つの総合知コース

総合知・総合生存学とは

現代社会は、地域紛争、経済危機、人口問題、環境汚染、感染症の拡大など、複雑で多様な課題に直面しています。これらの地球規模の課題を解決するためには、分野の垣根を越えた幅広い「知」を結集し、課題の発見と解決策の探求に活用することが求められます。この「知」の融合と統合的な活用が、私たちの提唱する**総合知**です。
総合生存学は、この総合知の理念を基盤に、「人類の生存」という根本的なテーマを掲げ、自然科学、人文学、社会科学を横断する分野横断型の研究を推進する学問です。さらに、この研究成果を政府、産業界、社会全体と連携させ、実社会での課題解決を目指します。
本コースでは、総合知を実践するためのアプローチや方法論を体系的に学び、**サステナビリティ、ウェルビーイング、フロンティア開発**という具体的なテーマに焦点を当てます。受講者は、自身の研究テーマを新たな視点から再定義し、地球規模の課題に挑む力を養います。このプログラムは、総合生存学を深く探求するための確固たる基盤ともなる学びの場です。

提供する3つのコース
- サステナビリティ総合知コース
- ウェルビーイング総合知コース
- フロンティア開発総合知コース

対象学生　修士課程及び博士後期課程の大学院生

サステナビリティ総合知コース

本コースでは、カーボンニュートラルで持続可能な社会の実現を目指し、環境問題に対する総合的な視点と解決力を養います。
具体的には、国際情勢や経済、資源問題といった多角的な視野を持ちながら、現在直面する環境課題に取り組む知見を身につけます。また、サステナビリティという複雑な構造を深く理解し、文系・理系の枠を超えた分野横断的な学術研究を推進するための基盤を提供します。
このコースを通じて、総合知の基礎力を習得し、未来の環境問題解決に貢献できる広い視野と実践力を身につけることを目指します。

履修要件

総合生存学（サステナビリティ）は必修。人文・社会科学系学生向け科目はA群から3科目6単位以上履修し、そのうちa群から2科目4単位以上履修すること。工学・自然科学系学生向け科目はB群から3科目6単位以上履修し、そのうちb群から2科目4単位以上履修すること。文系学生は人文・社会科学系学生向け科目、理系学生は工学・自然科学系学生向け科目の履修を推奨する。

開講科目

（選択科目）　（必修科目）総合生存学（サステナビリティ）2単位

人文・社会科学系学生向け科目
A群（合計3科目6単位以上）
- a群（2科目4単位以上）
  - 持続可能な発展とエネルギー転換
  - 地球生存リスク特論
  - 文系のための基礎化学
- 知恵することー情報の視点から生命と社会の本質を考える
- 環境防災生存学特論
- 科学技術と社会に関わるクリティカルシンキング（文）
- 持続性移行（学舎）

工学・自然科学系学生向け科目
B群（合計3科目6単位以上）
- b群（2科目4単位以上）
  - 国際環境政治学
  - エナジー・ファイナンス論
  - グリーンケミストリー（環境に優しい化学）入門
- 持続可能な発展とエネルギー転換
- SDGs下で求められる経営戦略
- 質的調査方法論（農）
- レジリエントな社会づくりのイノベーション：展望・自由提言（医）

（注）「総合生存学館生に対する総長名の修了証発行要件」必修科目2単位、a・b群から2科目4単位以上に加え、選択した系の他研究科開講科目2科目以上を修得すること。

修了の認定・資格　必修科目として総合生存学（サステナビリティ）2単位を修得し、指定の選択科目から3科目6単位以上を含む計8単位を修得した者に総長名の修了証を授与します。

ウェルビーイング総合知コース

本コースでは、ウェルビーイング（身体的・精神的・社会的に良好な状態）の社会的背景を理解し、実践的な問題解決力を養います。人文・社会科学と自然科学の視点から基礎知見を学び、総合知の方法論や分野横断的な研究手法を習得することで、地球規模の課題に柔軟かつ効果的に対応する力を身につけます。

履修要件

総合生存学（ウェルビーイング）は必修。人文・社会科学系学生向け科目はA群から3科目6単位以上履修し、そのうちa群から2科目4単位以上履修すること。工学・自然科学系学生向け科目はB群から3科目6単位以上履修し、そのうちb群から2科目4単位以上履修すること。文系学生は人文・社会科学系学生向け科目、理系学生は工学・自然科学系学生向け科目の履修を推奨する。

開講科目

（選択科目）　（必修科目）総合生存学（ウェルビーイング）2単位

人文・社会科学系学生向け科目
A群（合計3科目6単位以上）
- a群（2科目4単位以上）
  - 感染症と人類
  - 知恵することー情報の視点から生命と社会の本質を考える
  - 地球生存リスク特論
- アジア文明を横断した仏教史
- 人新世の哲学
- マインドフルネス：東洋と西洋の間
- 人間生態学（AA）
- 質的調査方法論（農）
- 科学技術と社会に関わるクリティカルシンキング（文）

工学・自然科学系学生向け科目
B群（合計3科目6単位以上）
- b群（2科目4単位以上）
  - アジア文明を横断した仏教史
  - 人新世の哲学
  - マインドフルネス：東洋と西洋の間
- 感染症と人類
- 知恵すること
- 地球生存リスク特論
- 社会疫学（医）
- ヘルスサイエンス研究の進め方（医）
- 健康情報学Ⅰ（医）

（注）「総合生存学館生に対する総長名の修了証発行要件」必修科目2単位、a・b群から2科目4単位以上に加え、選択した系の他研究科 開講科目2科目以上を修得すること。

修了の認定・資格　必修科目として総合生存学（ウェルビーイング）2単位を修得し、指定の選択科目から3科目6単位以上を含む計8単位を修得した者に総長名の修了証を授与します。

フロンティア開発総合知コース

本コースでは、宇宙開発（月・火星の基地建設や資源探索）と国際開発（途上国支援、平和構築など）をテーマに、課題解決に必要な総合知の基礎力と実践力を養います。受講者は、いずれかの分野に焦点を当てつつ学際的な視点を身につけ、地球規模の課題に対応する幅広い視野と実践力を培います。

履修要件

総合生存学（フロンティア開発）は必修。国際開発系はA群から3科目6単位以上履修し、そのうちa群から2科目4単位以上履修すること。宇宙・地球系はB群から3科目6単位以上履修し、そのうちb群から2科目4単位以上履修すること。

開講科目

（選択科目）　（必修科目）総合生存学（フロンティア開発）2単位

国際開発系科目
A群（合計3科目6単位以上）
- a群（2科目4単位以上）
  - 開発経済学（政策と制度）
  - 開発政治学
  - 国際開発政策論
- 水惑星地球
- 宇宙居住学
- 地球生存リスク特論
- 持続性移行（学舎）
- 東南アジア地域論（農）
- デジタルガバメント論（公共）

宇宙・地球系科目
B群（合計3科目6単位以上）
- b群（2科目4単位以上）
  - 水惑星地球
  - 宇宙居住学
  - 地球生存リスク特論
- 開発経済学（政策と制度）
- 開発政治学
- 国際開発政策論
- 有人宇宙学
- 宇宙学（理）
- 地球益経済論（学舎）

（注）「総合生存学館生に対する総長名の修了証発行要件」必修科目2単位、a・b群から2科目4単位以上に加え、選択した系の他研究科開講科目2科目以上を修得すること。

修了の認定・資格　必修科目として総合生存学（フロンティア開発）2単位を修得し、指定の選択科目（国際開発系または宇宙・地球系）から3科目6単位以上を含む計8単位を修得した者に総長名の修了証を授与します。